

道東自然系施設ネットワーク

～ 道東の豊かな自然環境の保全と、魅力ある発信を目指す施設の絆 ～

■ 設立の目的

道東を拠点として自然をテーマに活動している施設が緊密に連携・協力し、訪れる人々へ道東の自然に対する理解を深めていただくための事業に取り組み、もって道東の自然環境の保全と地域の持続可能な発展を目指しています。

■ 主な活動・事業内容

① はしごプロジェクト

各施設の“旬”の自然情報を相互の館内に掲示。エリア内の施設を「はしご」して利用してもらうことで、地域全体の利用者獲得を促します。

② 月刊生き物予報

フクジュソウ、タンチョウ、渡り鳥など共通の自然素材を抽出し、どのエリアが今“旬”なのかを一覧化して発信しています。

③ 振興局等と連携した広域発信

根室・オホーツク・釧路の各総合振興局のウェブサイトや釧路市動物園等と連携し、「はしご情報」を広く一般へ届けています。

④ 共通ガイド・マップの整備

加盟施設を紹介する「道東自然系施設ファイル」や「道東自然系施設マップ」を各施設に設置し、周遊観光をサポートします。

⑤ 施設相互研修・ワークショップ

職員のスキルアップや課題解決のため、「クマ対策」などのタイムリーなテーマでワークショップや情報交換会を定期開催しています。

⑥ ネットワーク基盤（ML・WEB）

専用メーリングリストによる迅速な情報共有や、WEB上のプラットフォーム（リンク集）の維持管理を行っています。

■ 構成員施設一覧（全16施設）

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| ● 阿寒湖畔ビジターセンター | ● 厚岸水鳥観察館 | ● 知床自然センター |
| ● 阿寒国際ツルセンター | ● 霧多布湿原センター | ● 温根内ビジターセンター |
| ● 川湯ビジターセンター | ● 春国岱原生野鳥公園NC | ● 知床世界遺産センター |
| ● 鶴居・伊藤タンチョウS | ● 野付半島ネイチャーセンター | ● 濤沸湖水鳥・湿地センター |
| ● 塘路湖エコミュージアムC | ● 羅臼ビジターセンター | ● ネイパル北見 |
| | | ● ノンノの森ネイチャーセンター |

■ 運営体制（持ち回り・輪番制）

本ネットワークは特定の事務局に依存せず、加盟施設が1年交代の輪番制で「代表世話役」および「事務局」を担当する自律的な運営スタイルをとっています。2025～2026年度は、野付半島ネイチャーセンター、霧多布湿原センター、羅臼ビジターセンターなどが中心となって運営を担っています。